

早稲田大学

社会的養育研究所

～「子どものために」で終わらせず「子どもとともに」へ繋げる～

新しい社会的養育システムの実現に必要なエビデンスと
それに基づく実践展開、施策策定への支援体制の構築に取り組む。

社会的養護経験者との協働

PROJECT 01 家庭養育推進自治体モデル事業との協働

日本財団が「すべての子どもがその権利を尊重され、安全・安心であたたかい家庭において育つことを目指す共同プロジェクト」として協定を締結した自治体に対して、家庭養育推進に関する研修・プログラム、コンサルテーション、自治体内・自治体間の官民を含めた交流・情報共有、事業成果の評価・検証を行っています。2025年度は、大分県・山梨県・福岡市における体制整備の支援、評価・検証、自治体間交流を実施しました。2026年度からは、日本財団が新たに協定を締結した2つの自治体（長野県・茨城県）※に対し、地域の状況に応じた家庭養育推進の支援を開始しています。※2026年6月末時点

PROJECT 02 ユース会議

社会的養護経験者（ユース）の参画を通じて、当事者の権利擁護と研究活動の充実を図る会議を実施しています。2025年度は、ユースの経験や提案をもとに、社会的養護における支援のあり方や当事者参画について検討し、ガイドブック作成を進めました。

PROJECT 03 ピアサポート自立支援調査研究

児童期に社会的養護を経験し、現在社会的養護で働いている方を対象に質問紙調査を実施しました。調査結果をもとに、当事者経験を有する支援者への支援のあり方を検討し、ガイドブックの作成を進めています。

里親への支援

PROJECT 04 新しい里親支援プログラム：メンタライジングに基づく里親支援プログラム（Reflective Fostering Programme）の日本への導入

英国 Anna Freud で開発されたメンタライジングに基づく里親支援プログラム「Reflective Fostering Programme (RFP)」の日本への導入を進めています。2025年度は、海外研究者・臨床家との協働のもと、里親の方々を対象としたプログラム実践とパイロット調査を実施し、学会発表や講演会を通じて、日本における実装可能性と文化的適応について検討しました。

関係機関支援

PROJECT 05 社会的養護と学校プロジェクト

学校教職員に向けた社会的養護に関する研修プログラムの開発を目的として、学校現場における理解や支援の実態把握に取り組んでいます。2025年度は、日本子ども虐待防止学会第31回学術集会において「社会的養護を必要とする子どもに対する学校教職員の理解や対応の実態調査：本調査を中心とした分析」を報告しました。

家庭への支援

PROJECT 06 養育者支援プログラムの活用促進

虐待予防や家庭支援の充実に向けて、養育者支援プログラムの活用・普及を進めています。実践家・研究者のネットワークを構築し、自治体や関係機関との連携を図りながら、支援プログラムを地域で活用するための体制や運用上の課題について検討しています。2024年度に作成した「養育者（おやこ）支援プログラムガイド」は、研究所ホームページでPDFを公開しました。右の二次元コードからご覧ください。
※本ガイドの転載、複製、転用を禁じます。



PROJECT 07 支援ニーズの高い家庭に対する支援のあり方に関する検討

養育困難や虐待リスクの高い家庭に対する支援のあり方について、養育者支援プログラムの活用促進と関連づけながら検討しています。2025年度は、複雑性トラウマを抱える子どもへの支援をテーマに、子ども・養育者・支援者をつなぐメンタライジング・アプローチに関する講演会を開催し、支援者を含めた関係性全体を支える視点の普及を図りました。

PROJECT 08 子どもの居場所調査プロジェクト

改正児童福祉法により創設された「児童育成支援拠点事業」は、養育環境等に課題を抱える子どもに生活の場や相談支援を提供する事業です。本プロジェクトでは、全国の児童家庭支援センターおよび児童養護施設を対象に、同事業の実施状況に関する実態調査を行い、地域における子どもの居場所支援の現状と課題を検討しました。

情報提供・共有

PROJECT 09 研修会・講演会

2025年度は、社会的養育・家庭養育・メンタライジングに関する研修会や講演会を開催・共催しました。主な企画として、「地域で守る産前・産後メンタルヘルスケアと養育者（おやこ）支援」、第8回 FLEC フォーラム+、家庭養育推進自治体モデル事業報告会、複雑性トラウマを抱える子どもへの支援に関する講演会、児童相談所・里親業務担当者研修等を実施しました。

PROJECT 10 オンデマンド動画セミナー

当研究所では、国内外の研究者・実践家による講義を、オンデマンド動画セミナーとしてホームページで公開しています。社会的養育、家庭養育、里親支援、養育者支援、子ども家庭福祉等に関する学びの機会を、関係機関や実践者に広く提供しています。視聴をご希望の方は右の二次元コードから必要事項を入力し送信してください。



PROJECT 11 海外文献の翻訳・紹介

海外の先進的な研究論文、報告書、書籍等の翻訳・紹介を行っています。2025年度は、里親制度や養育支援、里親ソーシャルワークに関する海外文献の監訳・翻訳を進めるとともに、『子ども・養育者・支援者をつなぐ複雑性トラウマへのメンタライジング・アプローチ』を出版しました。本書では、子どもだけでなく、養育者や支援者を含む「関係性全体」を支える視点を紹介しています。

これまでの研究所の取り組みの社会実装に向けて

- 本研究所で実施してきた調査研究や研究開発の成果は、関連する実践・研修事業へと引き継がれています。2024年度より早稲田大学人間総合研究センターで「早稲田大学子ども家庭福祉プロジェクト」を立ち上げ、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格研修プロジェクトでは研修の実施や運営支援を、専門里親養成・研究プロジェクトでは、自治体からの委託に基づく専門里親の認定研修・更新研修や、里親に関する研究を進めてきました。2026年度は、一般財団法人日本ソーシャルワークセンターから研修種別指定研修の認定を受け、早稲田大学の WASEDA NEO による研修プログラムが開催されます。研修を修了することで、こども家庭ソーシャルワーカー資格認定試験の受験資格を得ることができます。また、本プログラムは厚生労働省の教育訓練給付制度（特定一般教育訓練）の指定講座です。
【WASEDA NEO こども家庭ソーシャルワーカー認定資格指定研修 <https://wasedaneo.jp/service/certificate-programs/child-family-social-worker/>】二次元コード右上▲
- 専門里親養成・研究は、NPO 法人家庭養育支援機構で実施されます。同 NPO では、社会的養育研究所でこれまでに実施した「フォスターリング・アセスメントのあり方に関する調査研究」「里親支援センターの第三者評価のあり方に関する調査研究」「里親認定前研修 (The Skills To Foster) 日本版プロジェクト」等もプログラムとして提供しています。
【NPO 法人家庭養育支援機構：<https://family-childcare.org/>】二次元コード右下▶

